



2026年9月期第1四半期 決算説明資料

[2025/10 – 2025/12]

<目次>

- | | |
|--------------------------|------|
| 1. 2026年9月期 連結業績予想 | p. 4 |
| 2. 2026年9月期 第1四半期 連結決算概要 | p. 9 |
| 3. 業績補足 | p.22 |
| 4. 3カ年の財務・投資・還元方針、体制 | p.25 |
| 5. サステナビリティ | p.27 |
| 6. DX（デジタルトランスフォーメーション） | p.32 |

2026年9月期 第1四半期 決算トピックス

2026.9期
1Q業績

◆第1四半期として過去最高の売上高・営業利益を更新

	<u>実績</u>	<u>前期比</u>
売上高	3,298億円	104.3%
営業利益	402億円	117.3%
当期純利益※1	274億円	119.6%

2026.9期
2Q(中間期)
業績予想
<上方修正>

◆2Q(中間期)及び通期の業績予想・配当予想を上方修正

	<u>新中間期予想</u>	<u>修正額</u>	<u>前期比</u>
売上高	6,916億円	—	107.5%
営業利益	843億円	+45億円	114.3%
当期純利益※1	569億円	+35億円	122.1%
1株当たり中間配当	100 円	+6 円	+16円

2026.9期
通期
業績予想
<上方修正>

	<u>新通期予想</u>	<u>修正額</u>	<u>前期比</u>
売上高	1兆4,850億円	—	111.1%
営業利益	1,745億円	+45億円	119.6%
当期純利益※1	1,155億円	+35億円	114.7%
1株当たり通期配当	200 円	+12 円	+22円

注: 本資料における当期純利益は、親会社株主に帰属する当期（中間、四半期）純利益を指します。

2026年9月期 第1四半期の業績

戸建関連

販売契約高において、当1Qは前4Qに続き高水準を継続
売上高においては、契約から引渡までにタイムラグがあるため、
当1Qは前年同期比減少したものの、当2Qは同15%増を見込む

マンション

販売は堅調、契約進捗率90%、当4Qに引き渡しが集中

収益不動産

投資用不動産に対する高い需要を受け、売上高前年同期比64.4%増

アメリカ不動産

富裕層のアメリカ現物不動産への資産分散の動きは引き続き活発
管理物件棟数は6,200棟、管理資産総額は3,500億円を超える

財務状況

自己資本比率 38.7%、ネットD/Eレシオ 0.7倍と健全な状態を維持

株主還元

株主還元方針「総還元性向 40%以上」に則り
1株当たり年間配当金：200.00円(前期差 +22.00円)に上方修正、自己株式取得：250億円

1. 2026年9月期 連結業績予想



OPEN HOUSE GROUP

連結業績予想 (2Q(中間期)修正)

■ 2Q(中間期)の業績予想及び配当予想を上方修正

(単位:百万円)

	2025.9期2Q (2024/10-2025/3)		2026.9期2Q 当初予想 (2025/10-2026/3)		修正額	2026.9期2Q 修正予想 (2025/10-2026/3)	
	実績	前期比	予想	前期比		予想	前期比
売上高	643,433	106.7%	691,600	107.5%	-	691,600	107.5%
営業利益	73,776	132.4%	79,800	108.2%	+4,500	84,300	114.3%
経常利益	71,586	122.7%	76,200	106.4%	+5,000	81,200	113.4%
当期純利益	46,595	89.8%	53,400	114.6%	+3,500	56,900	122.1%
1株当たり中間配当金(円)	84.00	+1.00	94.00	+10.00	+6.00	100.00	+16.00

連結業績予想（通期修正）

■ 通期の業績予想及び配当予想は2Q(中間期)業績の上振れ分のみを反映

(単位:百万円)

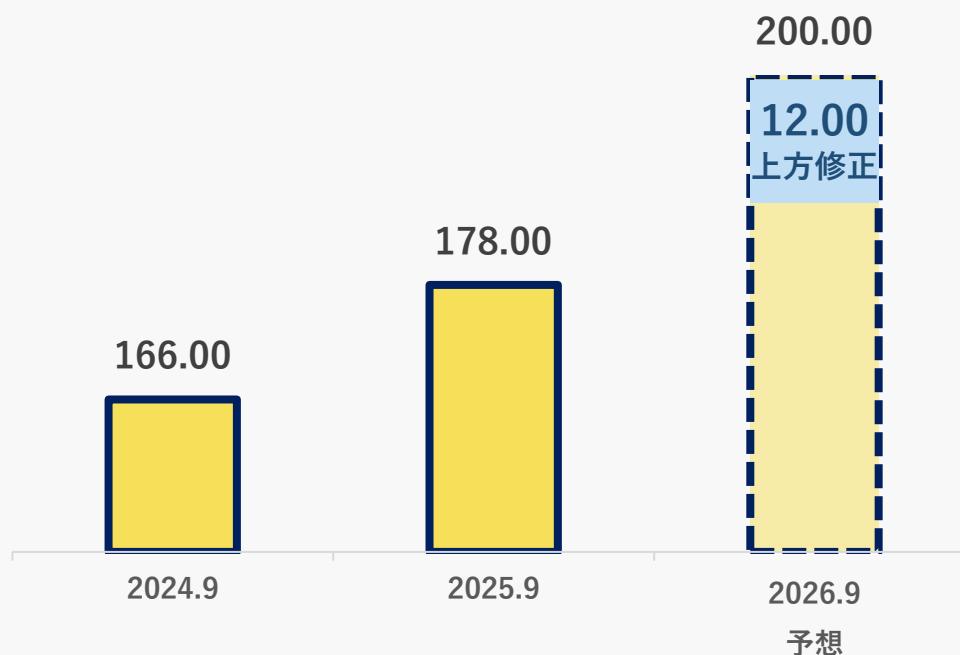
	2025.9期 (2024/10-2025/9)		2026.9期 当初予想 (2025/10-2026/9)		修正額	2026.9期 修正予想 (2025/10-2026/9)	
	実績	前期比	予想	前期比		予想	前期比
売上高	1,336,468	103.1%	1,485,000	111.1%	-	1,485,000	111.1%
営業利益	145,933	122.5%	170,000	116.5%	+4,500	174,500	119.6%
経常利益	139,491	116.0%	160,000	114.7%	+5,000	165,000	118.3%
当期純利益	100,670	108.3%	112,000	111.3%	+3,500	115,500	114.7%
1株当たり配当金(円)	178.00	12.00	188.00	+10.00	+12.00	200.00	+22.00
自己株式取得額	24,999	+5,121	25,000	+0	-	25,000	+0

株主還元

- 「配当性向 20%以上」から「総還元性向 40%以上」に株主還元方針を変更
- 今期も増配を継続し、自己株式の取得及び消却を実施

1株当たり配当金

1株当たり配当金の推移(円)



自己株式の取得

前期実績	総額	株数	割合 ※1
約250億円	4,002千株	3.44%	

当期計画	総額	株数	割合
250億円	5,000千株	4.44%	

※1 発行済株式総数に対する割合(自己株式除く)

自己株式の消却

前期実績	株数	割合 ※2
4,002千株	3.32%	

当期計画	当期取得の自己株式の全株式

※2 発行済株式総数に対する割合

連結業績予想（セグメント別/修正後）

(単位:百万円)

	2025.9期 (2024/10-2025/9)		2026.9期 当初予想 (2025/10-2026/9)		修正額 営業利益	2026.9期 修正予想 (2025/10-2026/9)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		売上高	営業利益
合計	1,336,468	145,933	1,485,000	170,000	+4,500	1,485,000	174,500
戸建関連事業	676,371	69,507	741,900	74,000	+3,000	741,900	77,000
マンション事業	73,222	8,047	100,000	24,600	+500	100,000	25,100
収益不動産事業	218,630	23,196	235,300	23,500	-	235,300	23,500
その他 (アメリカ不動産等)	151,261	15,743	165,700	17,700	-	165,700	17,700
プレサンス コーポレーション	227,316	28,720	245,300	29,500	+1,000	245,300	30,500
調整額	△10,334	719	△3,200	700	-	△3,200	700

2. 2026年9月期 第1四半期 連結決算概要



OPEN HOUSE GROUP

連結損益計算書（概要）

■ 第1四半期として過去最高の売上高・営業利益・経常利益を更新

(単位:百万円)

	2025.9期1Q (2024/10-2024/12)		2026.9期1Q (2025/10-2025/12)		前期比
	実績	売上対比	実績	売上対比	
売上高	316,131	-	329,850	-	104.3%
営業利益	34,352	10.9%	40,292	12.2%	117.3%
経常利益	34,653	11.0%	39,246	11.9%	113.3%
当期純利益	22,920	7.3%	27,407	8.3%	119.6%

セグメント情報（売上高・営業利益）

- 戸建関連事業は、営業利益率が0.2pt改善
- 収益不動産事業が牽引し、全社の営業利益率は12.2%と1.3pt改善

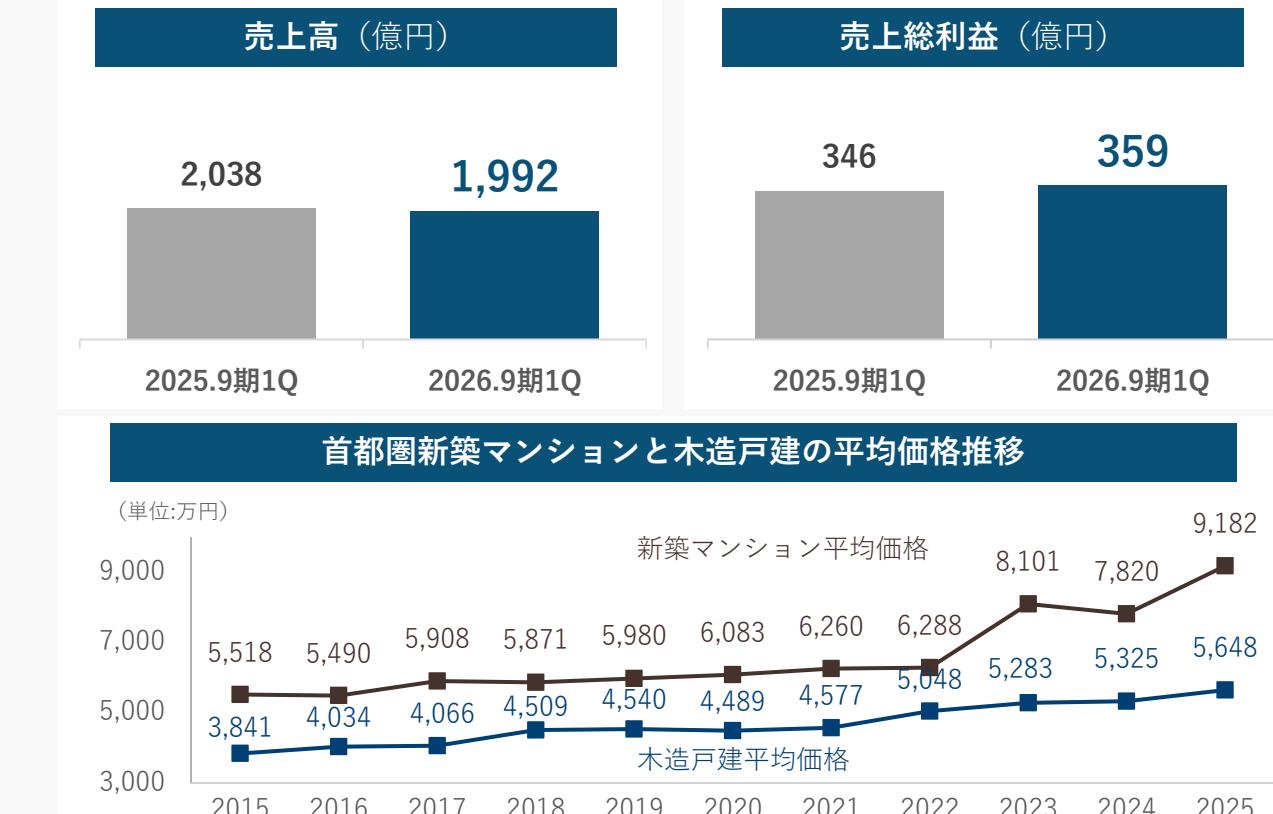
	売上高						営業利益					
	2025.9期1Q (2024/10-2024/12)		2026.9期1Q (2025/10-2025/12)		前期比		2025.9期1Q (2024/10-2024/12)		2026.9期1Q (2025/10-2025/12)		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比			実績	営業利益率	実績	営業利益率		
合計	316,131	100.0%	329,850	100.0%	104.3%		34,352	10.9%	40,292	12.2%	117.3%	
戸建関連事業	203,816	64.5%	199,297	60.4%	97.8%		23,201	11.4%	23,040	11.6%	99.3%	
マンション事業	3,615	1.1%	8,265	2.5%	228.6%		△965	-	572	6.9%	-	
収益不動産事業	30,839	9.8%	50,711	15.4%	164.4%		3,557	11.5%	7,133	14.1%	200.5%	
その他 (アメリカ不動産等)	36,561	11.6%	34,572	10.5%	94.6%		4,006	11.0%	3,842	11.1%	95.9%	
プレサンス コーポレーション	42,989	13.6%	37,644	11.4%	87.6%		4,155	9.7%	5,231	13.9%	125.9%	
調整額	△1,690	-	△641	-	-		396	-	471	-	-	

戸建関連事業（全体）

- 売上総利益率は1.0pt改善の18.0%
- 都市部においては、手の届く価格の戸建の販売が好調

(単位:百万円)

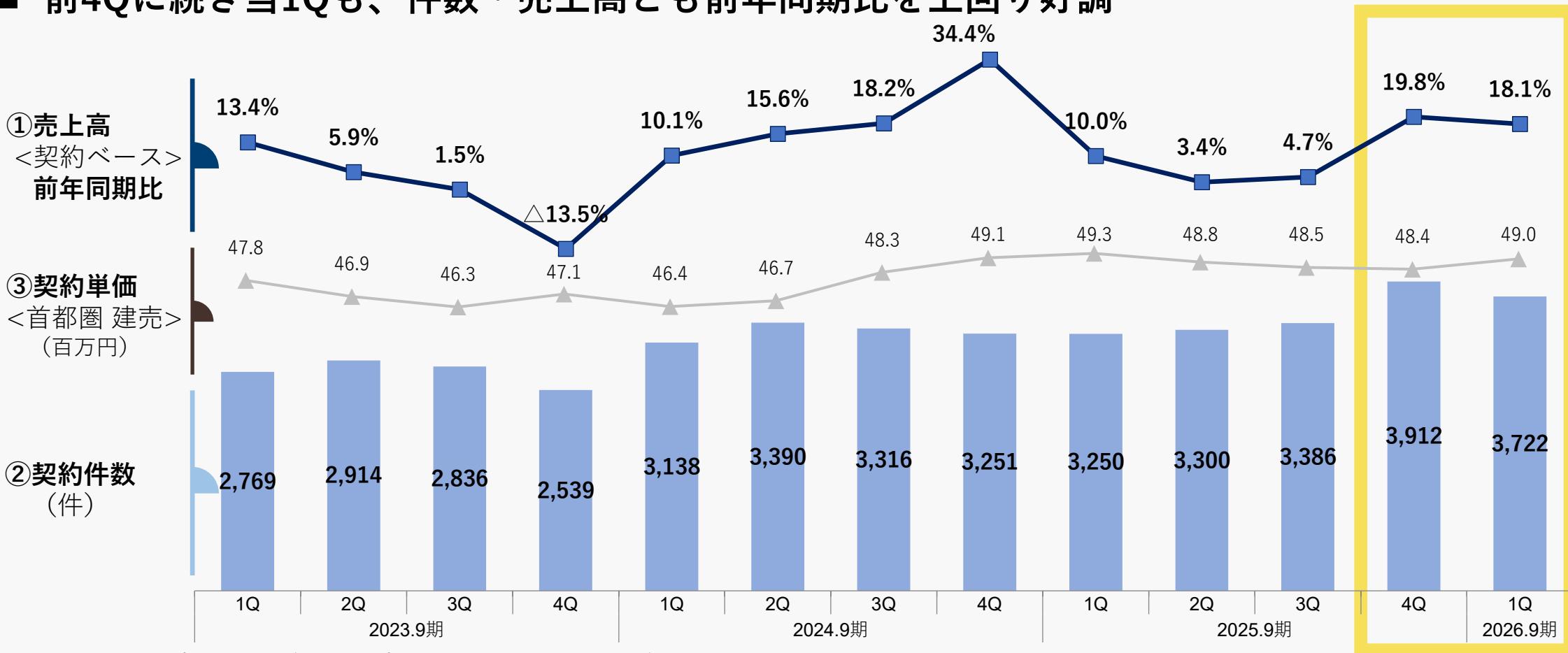
	2025.9期1Q (2024/10-2024/12)	2026.9期1Q (2025/10-2025/12)	前期比
売上高	203,816	199,297	97.8%
売上総利益	34,663	35,924	103.6%
売上総利益率	17.0%	18.0%	+1.0pt
営業利益	23,201	23,040	99.3%
営業利益率	11.4%	11.6%	+0.2pt



出所：株式会社不動産経済研究所「首都圏マンション市場動向」
東京カンティイ「新築(小規模)一戸建て住宅平均価格」、いずれも暦年

戸建関連事業（販売契約の推移）

- 大都市圏の需要は高く、販売契約は高水準を継続
- 前4Qに続き当1Qも、件数・売上高とも前年同期比を上回り好調



範囲：オープンハウス・ディベロップメント、ホーク・ワン、メルディア（2024年9月期1Qより）、永大（2025年9月期3Qより）

対象：①売上高前年同期比及び②契約件数：分譲（建売+土地、請負は含まず）、HOの土地の契約棟数を契約単位から区画単位に変更（2025.9期にも遡及）

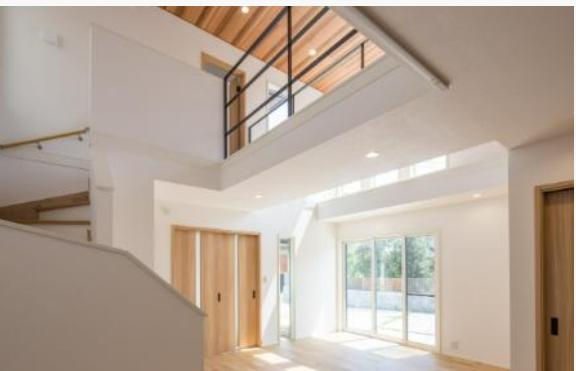
③契約単価：首都圏の建売のみ

戸建関連事業（デザインの進化）



動画でわかるメルディアの家

<https://meldia.jp/about/#about-movie>



ルームギャラリー | メルディアの家

<https://meldia.jp/gallery/>



建築事例 - オープンハウス・アーキテクト

<https://oha.openhouse-group.com/works/>



LIFE DESIGN PARK 3D - 家づくりの“いま”を大切にする新しい展示場。

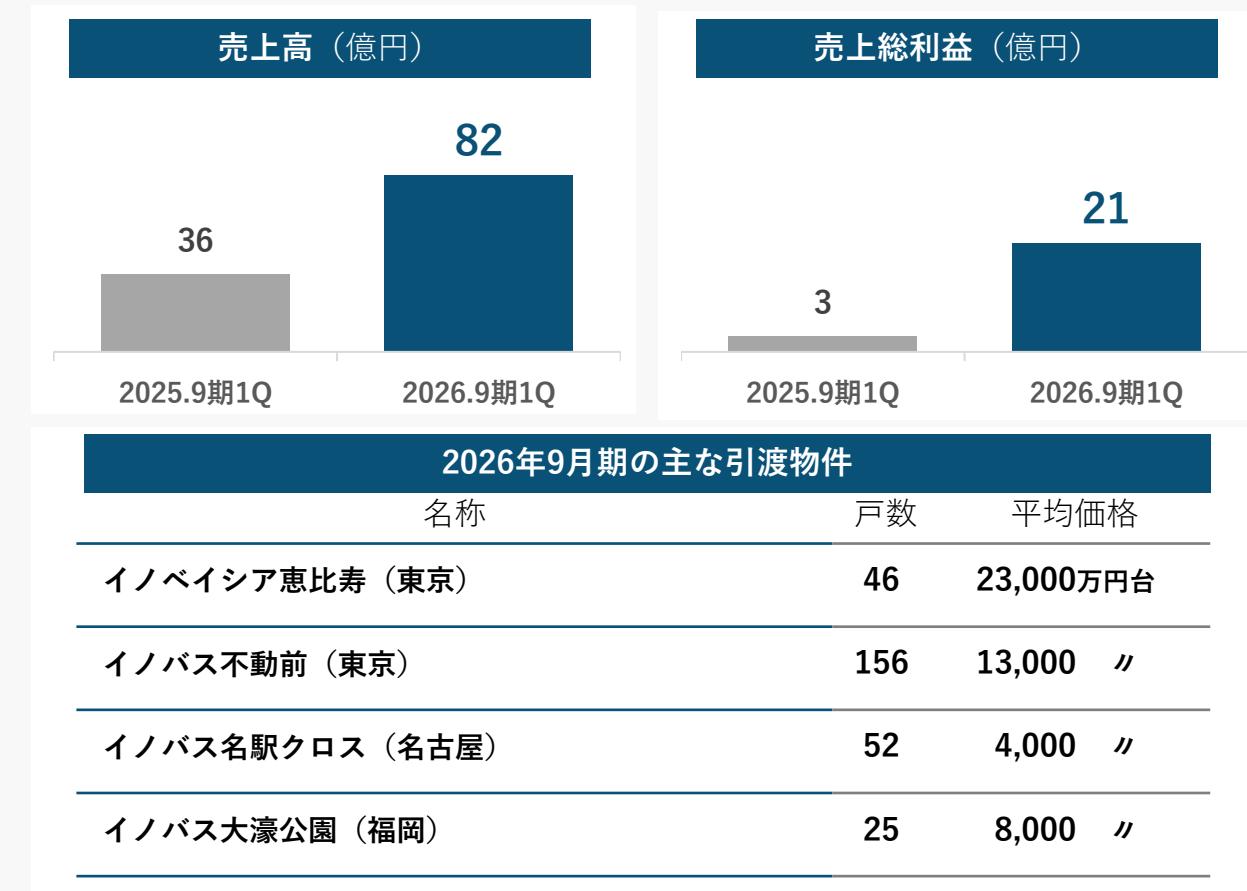
<https://oha.openhouse-group.com/design/vr/>

マンション事業

- 都市部の新築マンションに対する需要は高く、販売は堅調
- 2026年9月期は增收増益を見込む

(単位:百万円)

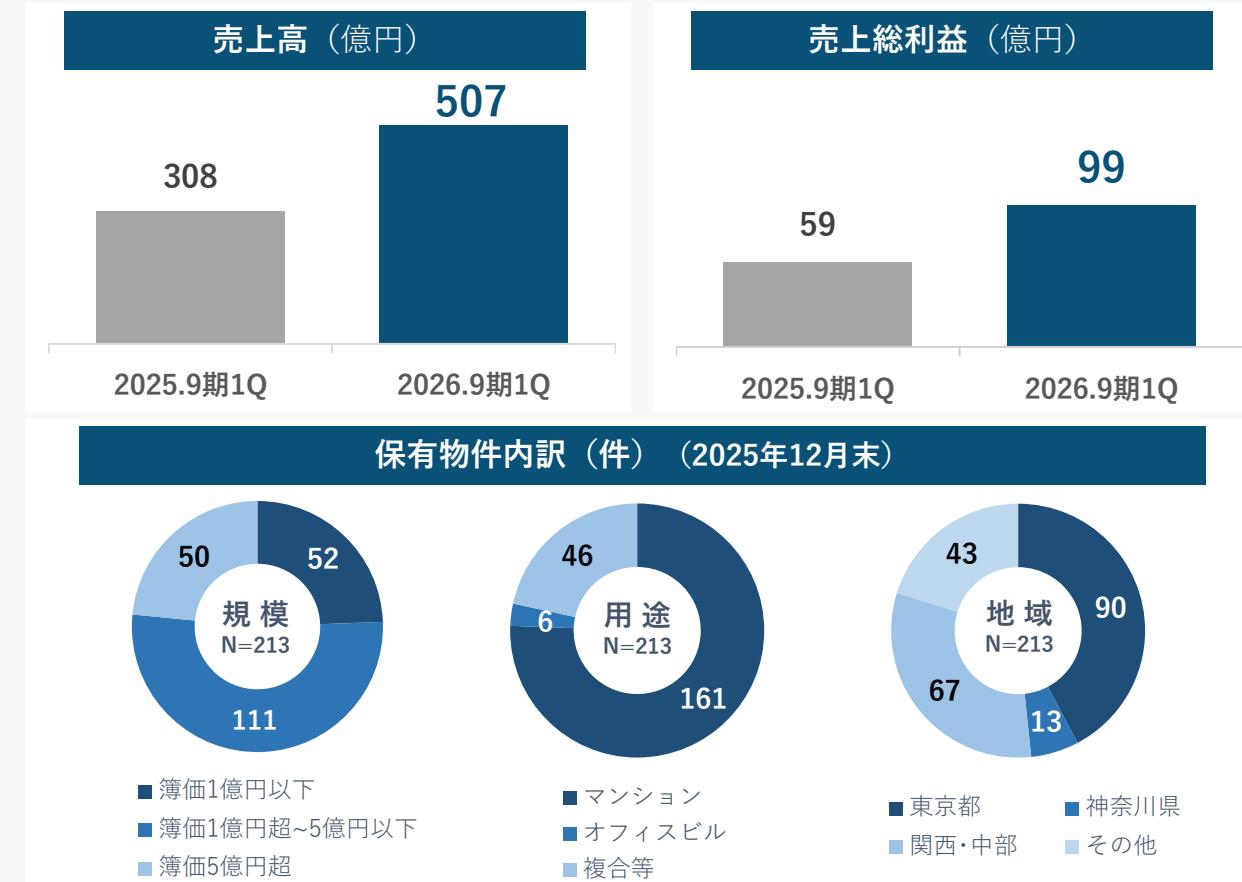
	2025.9期1Q (2024/10-2024/12)	2026.9期1Q (2025/10-2025/12)	前期比
売上高	3,615	8,265	228.6%
売上総利益	376	2,119	563.2%
売上総利益率	10.4%	25.6%	+15.2pt
営業利益	△965	572	-
営業利益率	-	6.9%	-
引渡戸数	66戸	160戸	+94戸
単価	53.6	50.8	△2.8



収益不動産事業

■ 10億円以下の投資用不動産に対する国内外の需要は引き続き堅調

(単位:百万円)			
	2025.9期1Q (2024/10-2024/12)	2026.9期1Q (2025/10-2025/12)	前期比
売上高	30,839	50,711	164.4%
売上総利益	5,924	9,919	167.4%
売上総利益率	19.2%	19.6%	+0.3pt
営業利益	3,557	7,133	200.5%
営業利益率	11.5%	14.1%	+2.5pt
引渡件数	117件	110件	△7件
単価	259	452	+193

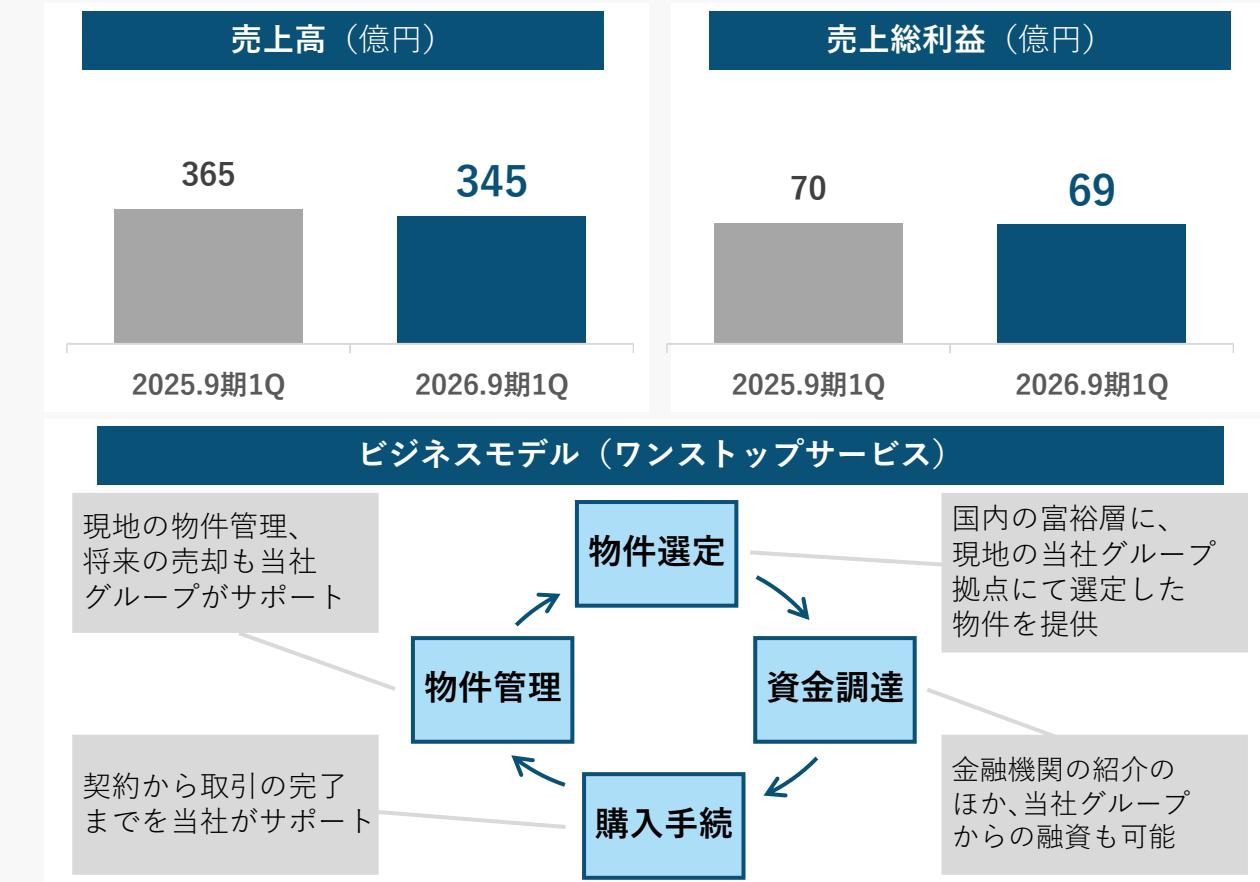


その他（アメリカ不動産事業等）

- 富裕層のアメリカ現物不動産への資産分散の動きは引き続き活発
- 管理物件棟数は6,200棟、管理資産総額は3,500億円を超える

	2025.9期1Q (2024/10-2024/12)	2026.9期1Q (2025/10-2025/12)	前期比
売上高	36,561	34,572	94.6%
売上総利益	7,034	6,931	98.5%
売上総利益率	19.2%	20.0%	+0.8pt
営業利益	4,006	3,842	95.9%
営業利益率	11.0%	11.1%	+0.2pt
引渡棟数※	346棟	311棟	△35棟
管理棟数※	5,459棟	6,277棟	+818棟

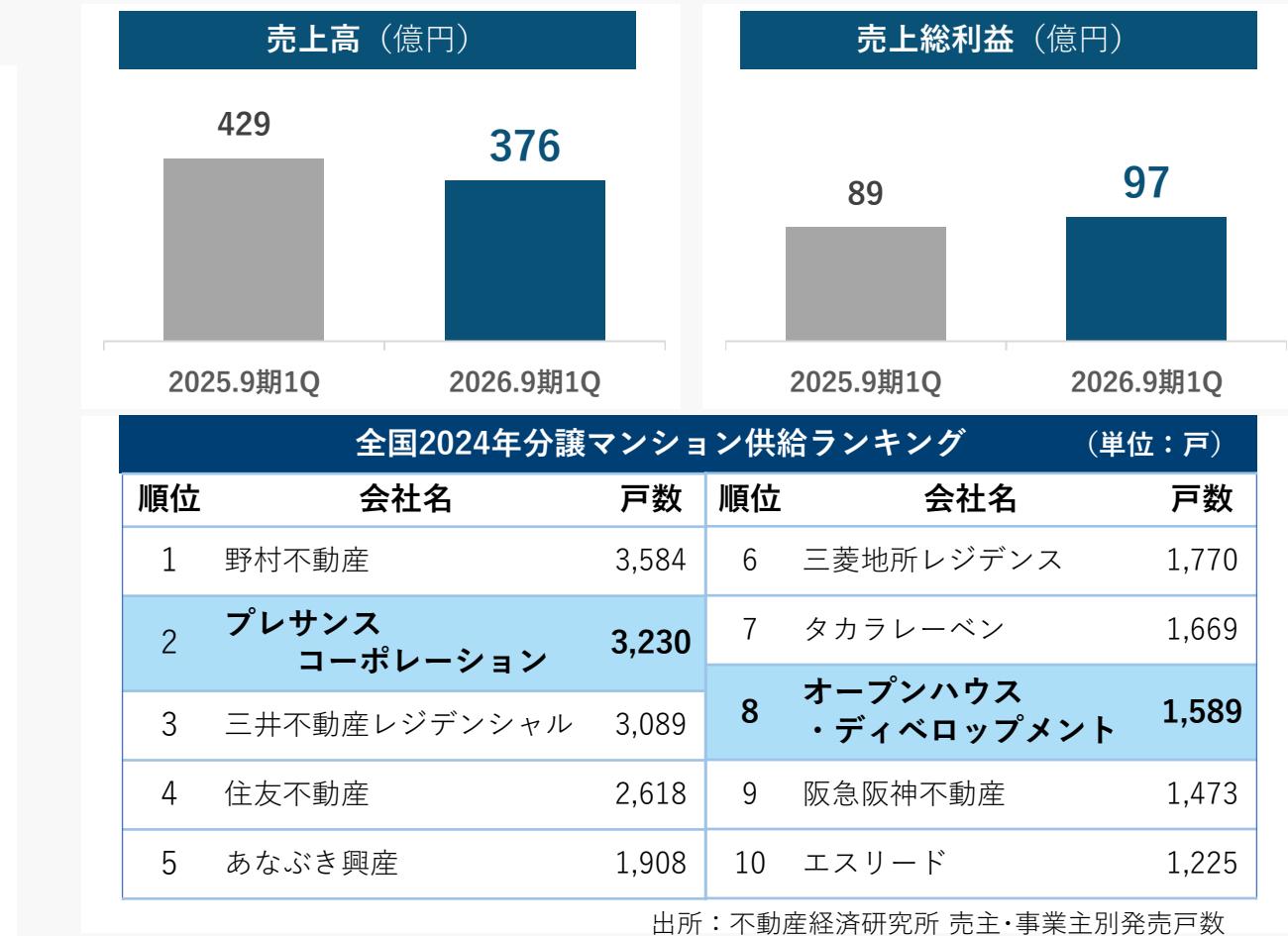
※アメリカ不動産事業の物件数



プレサンスコーポレーション

- 関西圏においても、マンションの販売は堅調
- 建設コスト上昇の影響を受けながらも、営業利益は前年同期を上回って着地

	2025.9期1Q (2024/10-2024/12)	2026.9期1Q (2025/10-2025/12)	前期比
売上高	42,989	37,644	87.6%
売上総利益	8,930	9,716	108.8%
売上総利益率	20.8%	25.8%	+5.0pt
営業利益	4,155	5,231	125.9%
営業利益率	9.7%	13.9%	+4.2pt
マンション引渡戸数	948戸	1,054戸	+106戸
ワンルームマンション	786戸	930戸	+144戸
ファミリーマンション	162戸	124戸	△38戸



販売費及び一般管理費、営業外収益・費用

(単位:百万円)

販売費及び一般管理費				営業外収益・費用			
	2025.9期1Q (2024/10-2024/12)		2026.9期1Q (2025/10-2025/12)		増減		
	実績	売上対比	実績	売上対比			
販売費及び一般管理費	22,679	7.2%	24,459	7.4%	+1,780		
人件費	8,560	2.7%	8,719	2.6%	+159		
販売手数料	2,216	0.7%	2,671	0.8%	+454		
事務所維持費	2,156	0.7%	2,144	0.7%	△11		
広告宣伝費	1,438	0.5%	2,118	0.6%	+679	※	
販売促進費	427	0.1%	460	0.1%	+33		
その他	7,879	2.5%	8,345	2.5%	+466		
営業外収益				2,239	0.7%	1,448	0.4% △791
受取利息				518	0.2%	693	0.2% +174
受取配当金				32	0.0%	1	0.0% △30
為替差益				1,065	0.3%	367	0.1% △698
その他				622	0.2%	385	0.1% △236
営業外費用				1,937	0.6%	2,493	0.8% +556
支払利息				1,542	0.5%	2,245	0.7% +703
支払手数料				164	0.1%	27	0.0% △136
その他				231	0.1%	220	0.1% △10

※2025.9期4Qより、広告宣伝費の配賦方法の見直しにより、その該当部分を売上原価から販管費での計上に変更

連結貸借対照表

- 自己資本比率は38.7%、ネットD/Eレシオは0.7倍と健全な財務状況を継続
- 今後の成長に向けて、棚卸資産の積み上げが進行

(単位:百万円)

連結貸借対照表

	2025.9期末	2026.9期1Q末	増減
流動資産	1,312,814	1,334,382	+21,568
現金及び預金	421,898	373,174	△48,724
棚卸資産	769,996	823,700	+53,703
その他	120,919	137,508	+16,588
固定資産	99,186	101,133	+1,946
有形固定資産	30,617	30,931	+313
無形固定資産	2,277	2,300	+23
投資その他の資産	66,291	67,901	+1,609
資産合計	1,412,001	1,435,516	+23,514

	2025.9期末	2026.9期1Q末	増減
負債	873,167	878,168	+5,000
流動負債	412,916	405,719	△7,197
固定負債	460,250	472,448	+12,197
純資産	538,834	557,348	+18,513
株主資本	523,033	536,347	+13,314
評価・換算差額等	15,591	20,804	+5,213
非支配株主持分	209	195	△14
負債純資産合計	1,412,001	1,435,516	+23,514

安全性指標

	2025.9期1Q	2026.9期1Q	増減
※ インタレストカバレッジレシオ	22.6倍	18.3倍	△4.4倍

※ 事業利益÷金融費用 = (営業利益+受取利息+受取配当金) ÷ 支払利息

	2025.9期末	2026.9期1Q末	増減
自己資本比率	38.1%	38.7%	+0.6pt
ネットD/Eレシオ	0.6倍	0.7倍	0.1倍

棚卸資産の状況

(単位:百万円)

	2023.9期末	2024.9期末	2025.9期末	2026.9期1Q末	(構成比)	前期末比
棚卸資産	641,256	684,179	769,996	823,700	100.0%	+53,703
戸建関連	296,015	267,819	309,847	321,119	39.0%	+11,271
マンション	80,443	88,411	97,587	116,316	14.1%	+18,729
収益不動産	88,326	88,759	87,290	91,769	11.1%	+4,479
その他（アメリカ不動産等）	43,798	53,887	61,019	68,509	8.3%	+7,490
プレサンスコーポレーション	132,672	185,300	214,252	225,985	27.4%	+11,732

(単位:億円)



注：セグメント区分の変更

2025年9月期より「メルディア」セグメントを廃止し、「戸建関連」「収益不動産」「その他」の各セグメントに集約。2024年9月期も変更後の区分方法により作成

3. 業績補足



OPEN HOUSE GROUP

連結業績推移

※ 広告宣伝費の配賦方法の見直しにより、その該当部分を仲介(株式会社オープンハウス(下表には記載なし))の売上原価から、OHD等の販管費への計上に変更。それにより戸建関連事業の売上総利益及び販管費は増加するものの営業利益には影響なし。

		※					(単位:百万円)	
		2025.9期				2026.9期	2025.9期	2026.9期
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	実績	計画
戸建関連事業	売上	203,816	159,212	157,816	155,526	199,297	676,371	741,900
	売上総利益	34,663	27,809	26,926	26,592	35,924	115,992	128,300
	売上総利益率	17.0%	17.5%	17.1%	17.1%	18.0%	17.1%	17.3%
	営業利益	23,201	17,758	15,024	13,522	23,040	69,507	77,000
OHD	営業利益率	11.4%	11.2%	9.5%	8.7%	11.6%	10.3%	10.4%
	売上	112,793	84,903	84,993	84,867	106,088	367,558	405,000
	売上総利益	19,033	15,670	14,823	12,867	18,950	62,395	69,800
	売上総利益率	16.9%	18.5%	17.4%	15.2%	17.9%	17.0%	17.2%
ホーク・ワン	棟数 建壳	1,637棟	849棟	876棟	1,054棟	1,120棟	4,416棟	5,019棟
	※1 土地	1,170棟	970棟	988棟	754棟	1,230棟	3,882棟	4,167棟
	請負	304棟	335棟	307棟	324棟	406棟	1,270棟	1,382棟
	単価 建壳	39.5	41.7	42.8	43.7	42.6	41.6	41.7
※2 メルディア	※1 土地	40.0	40.1	42.0	43.0	41.1	41.1	40.9
	売上	52,171	41,472	36,988	33,350	48,725	163,982	167,000
	売上総利益	7,948	6,396	6,246	5,432	8,172	26,024	26,400
	売上総利益率	15.2%	15.4%	16.9%	16.3%	16.8%	15.9%	15.8%
OHA	棟数 建壳	796棟	617棟	503棟	477棟	638棟	2,393棟	2,244棟
	土地	179棟	187棟	232棟	175棟	316棟	773棟	939棟
	請負	27棟	88棟	53棟	71棟	86棟	239棟	327棟
	単価 分譲	52.4	50.3	49.0	49.3	49.6	50.4	52.3
※2 メルディア	売上	25,214	18,866	22,500	20,996	33,034	87,577	106,100
	売上総利益	3,666	3,224	3,751	3,178	5,391	13,821	17,000
	売上総利益率	14.5%	17.1%	16.7%	15.1%	16.3%	15.8%	16.0%
	棟数 建壳等	505棟	378棟	393棟	405棟	713棟	1,681棟	2,188棟
OHA	売上	16,141	16,136	15,152	21,192	12,807	68,623	81,000
	売上総利益	2,327	2,292	2,116	2,809	1,651	9,545	10,900
	売上総利益率	14.4%	14.2%	14.0%	13.3%	12.9%	13.9%	13.5%
	棟数 外部向け	524棟	604棟	551棟	694棟	395棟	2,373棟	2,610棟
	内部向け	488棟	408棟	377棟	661棟	387棟	1,934棟	2,400棟

※1 OHD、HOの土地の販売において、棟数及び単価は契約単位から区画単位に読み替えて集計。

※2 2025年9月期「メルディア」セグメント廃止に伴い、上記は戸建関連事業部分のみを記載。

連結業績推移

(単位:百万円)

		1Q	2Q	3Q	4Q	2026.9期 1Q	2025.9期 実績	2026.9期 計画	
マンション事業	売上	3,615	2,446	12,958	54,202	8,265	73,222	100,000	
	売上総利益	376	598	3,478	10,601	2,119	15,055	32,200	
	売上総利益率	10.4%	24.5%	26.8%	19.6%	25.6%	20.6%	32.2%	
	営業利益	△965	△842	1,527	8,328	572	8,047	25,100	
	営業利益率	-	-	11.8%	15.4%	6.9%	11.0%	25.1%	
	引渡戸数	66戸	68戸	249戸	1,067戸	160戸	1,450戸	1,435戸	
収益不動産事業	単価	53.6	34.7	51.6	50.6	50.8	50.1	69.1	
	売上	30,839	65,145	46,010	76,634	50,711	218,630	235,300	
	売上総利益	5,924	10,197	6,240	11,028	9,919	33,391	35,000	
	売上総利益率	19.2%	15.7%	13.6%	14.4%	19.6%	15.3%	14.9%	
	営業利益	3,557	7,388	3,652	8,596	7,133	23,196	23,500	
	営業利益率	11.5%	11.3%	7.9%	11.2%	14.1%	10.6%	10.0%	
アメリカ不動産事業	引渡件数	117件	134件	136件	202件	110件	589件	597件	
	単価	259	474	331	371	452	363	386	
	売上	27,819	23,413	26,361	27,803	24,980	105,398	115,900	
	注.	売上総利益	5,662	5,188	5,669	4,193	5,430	20,713	23,300
	「その他」セグメントから	売上総利益率	20.4%	22.2%	21.5%	15.1%	21.7%	19.7%	20.1%
	アメリカ不動産事業	営業利益	3,338	2,727	3,416	1,755	3,048	11,237	12,300
プレサンス コーポレーション	単独での記載に変更	営業利益率	12.0%	11.6%	13.0%	6.3%	12.2%	10.7%	10.6%
	引渡棟数	346棟	309棟	362棟	394棟	311棟	1,411棟	1,565棟	
	売上	42,989	64,237	43,272	76,816	37,644	227,316	245,300	
	売上総利益	8,930	15,367	9,955	16,690	9,716	50,944	55,500	
	売上総利益率	20.8%	23.9%	23.0%	21.7%	25.8%	22.4%	22.6%	
	営業利益	4,155	10,023	4,069	10,471	5,231	28,720	30,500	
引渡戸数	営業利益率	9.7%	15.6%	9.4%	13.6%	13.9%	12.6%	12.4%	
	ワンルーム	786戸	918戸	845戸	1,695戸	930戸	4,244戸	4,400戸	
	ファミリー	162戸	678戸	244戸	541戸	124戸	1,625戸	1,649戸	
	合計	948戸	1,596戸	1,089戸	2,236戸	1,054戸	5,869戸	6,049戸	

4. 3カ年の財務・投資・還元方針、体制 (2024.9~2026.9)



OPEN HOUSE GROUP

3カ年（2024.9～2026.9）の利益前提及び方針

利益前提

当期純利益(3カ年累計)

当初 2,500億円から

3,090億円に

上方修正

方針

自己資本比率

35%

ネットD/Eレシオ

1.0倍以内

投資額(3カ年累計)

2025年12月末までの実績

5,000億円

2,858億円

総還元性向40%以上※

株主還元額(3カ年累計)

当初 1,000億円から

1,300億円に上方修正

※ 詳細は2025年3月31日発表のリリースをご参照ください

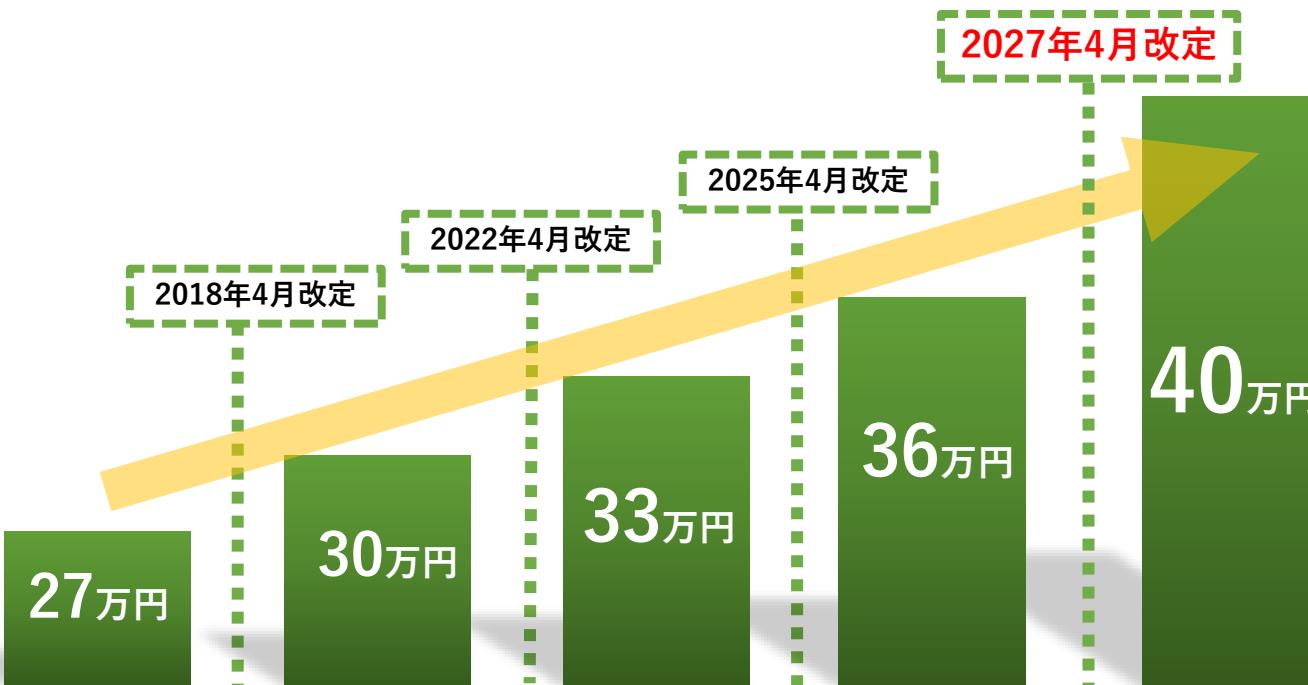
https://openhouse-group.co.jp/ir/upload_file/m000-20250331_returnpolicy_dividend_treasuryshare_j.pdf

5. サステナビリティ

人材採用の強化（初任給引き上げ）

- 2027年4月1日より新卒営業職の初任給月額40万円へ
- 当社グループの成長の原動力となる人材を積極的かつ安定的に確保

<新卒営業職初任給の推移>



<若手社員に人気の福利厚生>

入社支度金	一人暮らしを開始する新卒入社社員に30万円を支給
独身寮	新卒社員が入寮希望の場合、初期費用無料、水光熱費の負担なし、9月末までフリーレント
出産祝い金	本人やパートナーの出産時、第1子20万円、第2子30万円、第3子以降各子に100万円

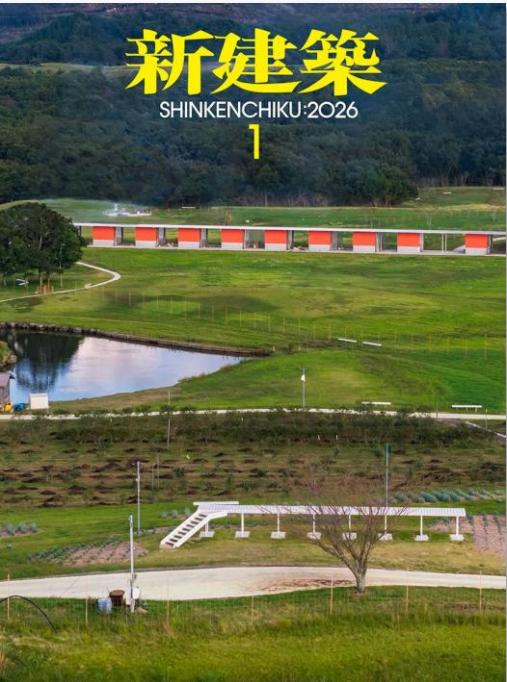
※諸条件あり

<営業職の活躍を支える施策と待遇>

DX・AI活用	事務の専門分担とDX・AI活用を徹底し、年間約11万時間の削減や営業自動化など業務効率化を推進
評価制度	年7回の人事評価制度（3か月に一度の昇進昇格、年2回の賞与評価、年1回の給与改定）
報酬体系	高水準の基本給により生活の安定を保証し、成果を賞与等で還元

地域共創

- 水上温泉街再生プロジェクトが建築専門誌『新建築』※に掲載
- 減築デザインによる廃墟再生に高評価



群馬県みなかみ町温泉街

「新建築」 2026年1月号

水上温泉街 旅館「一葉亭」跡地

本プロジェクトでは、オープンハウスグループ・みなかみ町・群馬銀行・東京大学大学院工学系研究科が産官学金包括連携協定を締結し、水上温泉街全体の再生と活性化を目指す。従来の「スクラップ&ビルト」ではない、「減築&再生」という先進的なデザインのアプローチが、同誌において高く評価された。

※『新建築』：株式会社新建築社により1925年8月に創刊された日本を代表する建築専門誌

女性活躍推進

- 東京都「東京女性未来フォーラム2026」で当社CFOが共同宣言に登壇
- 女性従業員のキャリア形成を全面支援、女性活躍推進の取り組みを一層強化



東京女性未来フォーラム2026共同宣言

女性活躍の輪～Women in Action～

東京女性未来フォーラム2026共同宣言

**私たちちは、経営戦略として
以下の取り組みを進めることを宣言します！**

- ◆ 私のトップマネジメントにより組織の文化を変革します。
- ◆ 女性の管理職を育成し、意思決定の場における女性を増やし、
より一層多様な声が反映されるようにします。
- ◆ 誰もがチャレンジできる働きやすい職場づくりを行います。

挑戦する女性に、無限の機会を

株式会社オープンハウスグループ 専務取締役CFO 若旅 孝太郎

OPEN HOUSE GROUP

スポーツ推進

- 東京都スポーツ推進企業認定制度「令和7年度東京都スポーツ推進企業」に初認定
- 小須田潤太選手、ミラノ・コルティナ2026冬季パラリンピック日本選手団の旗手に選出



東京都スポーツ推進企業認定制度は、従業員のスポーツ活動の促進や、スポーツ分野での社会貢献に取り組んでいる企業や団体を認定する制度。当社は、アスリート社員の雇用、地域の子どもたち対象のスポーツ教室開催、スポーツ分野での社会貢献などを対象とする「スポーツの支援部門」における取り組みが評価された。



6. DX（デジタルトランスフォーメーション）



OPEN HOUSE GROUP

2年連続3回目の「IT賞」を受賞

- 公益社団法人企業情報化協会（IT協会）主催の2025年度「IT賞（経営・業務改革）」を受賞
- 外部IT企業への業務委託に依存せず、SEの育成からシステムの構築・運用までを内製化



当社IT部門の特徴

- ✓ 人材：事業を語れるSEの育成
- ✓ 環境：現場とIT部門との緊密な連携
- ✓ 実績：300超の内製システムを構築・運用

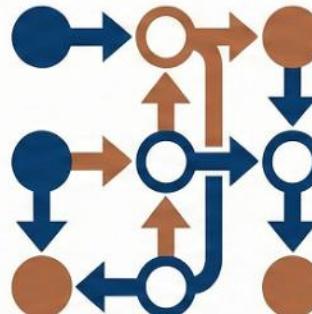
<2年連続3回目の受賞>
2020年度「IT賞（マネジメント領域）」
2024年度「IT奨励賞（トランクスフォーメーション領域）」

オープンハウス・アーキテクトの取り組み①

- 年間5,000棟の施工を支える現場では、監督個人の「経験と勘」に依存していた



5,000棟
年間施工数



130工程
1棟あたりの工程数



10棟
監督1人あたりの担当数

一人の現場監督が膨大な数の工程と複数案件を同時に管理する必要があり、
情報管理の負荷は極めて高かった。

オープンハウス・アーキテクトの取り組み②

- 「今日やるべきこと」を見る化し、経験の浅い監督でも精度の高い管理を可能に
- ホワイトボードから、やるべき作業を一覧化し、予め設定された標準的な工程を表示

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
Name A	Task	Task	Task		
Name B	Task	Task	Task		
Name C			Task	A/s/b/g	
Name D				Task at Site	
Name E			Task S/p/j/e	Task S/p Tacks	

Before : 手書きホワイトボード



After : 最適な端末で状況確認が可能

オープンハウス・アーキテクトの取り組み③

- 関係者それぞれがリアルタイムで進捗状況の把握ができるように情報を共有
- 成果：手戻り費用80%削減、工期13%短縮を達成

建築現場で働く方が使いやすいように、
5タイプのアプリでWEBシステムを提供

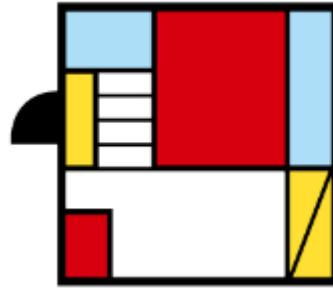


工程の調整不足による手戻り費用

80% 削減

情報連携の高速化及び工程の最適化

13% 工期短縮



**OPEN
HOUSE
GROUP**

当社のIR情報は、当社HPでご覧いただけます。

<https://openhouse-group.co.jp/ir/>

— 免責事項 —

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、発表時点における情報に基づく当社の予想を含み、さらに潜在的なリスクや不確実性を内包するものであり、将来の業績を保証するものではありません。また、本資料で提供している情報に関しては、その情報の正確性及び安全性を保証するものではなく、予告なしに変更されることがございます。

なお、本資料は情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。